

刊夕 日二月七



定価 一部金五銭 一月金五拾銭 半年金二百五拾銭 一年金五百拾銭  
 廣告料 五拾五字 第一行 金五拾銭  
 日曜 祭日の翌日 休刊  
 発行所 常磐毎日新聞社  
 編集者 藤田 誠  
 印刷所 常磐毎日新聞印刷部  
 印刷 常磐毎日新聞印刷部

童話の指導 [五]

寺田喜次郎

古きからいつても量からいつても質からいつても世界に誇るべき大傳説集で、此の中に實に面白い各種の説話を——中には芥川龍之助の編案した「鼻」「藁粥」「龍」「羅生門」の如きものも含んで居ります。武勇譚にしても日本武士道の發達史を飾るべき、そして童話として上乘なるものをたくさん持つて居ります。文章はかなり變なものです。讀んで分らんやうなものではありません。童話の庫として一讀なさることをおすすめ致します。

◇さて此の武勇時代の子供に與ふべき童話ですか、これは實に多數あります。お伽噺、説話、寓話、歴史譚、かるい冒険譚、事實譚、動物譚等甚だ種類がひろいのであります。今簡単にそれらについて説明しますならば、お伽噺、これは元來童話の一部のものです。最も豊富で多種多様なが故に普通は童話即ちお伽噺と解される位であります。お伽噺の定義は一概に下されません。神話、傳説、寓話又は自然界の物語などに親密

を感じない子供もお伽噺を面白がるものはないのです。従つてその與ふる教訓から見ても非常に廣いものであります。兩親に對する従順の態度、子供同志に對する同情、和合の態度、慈悲救助の精神、動物に對する同情、神に對する信頼の情、因果應報の理、かういふ點はお伽噺の與へる教訓であります。なほ此上に心靈的生命を旨めしめるとか、想像情緒を助けて思想を正しく導くとか、進んでは人類社會に對して奉仕せんとする念を創造するとか、随分いろいろの教訓が考へられます。アンデルセンのお伽噺とか、前述のバーネット女史の「小公子」「小公女」とかアミチスのクオーレー（愛の學校）とかいふ類のものを讀みになればなるほどとお考へになるでせう。



短歌  
 別る戀  
 本津 茂太郎  
 波騒ぐ海邊の丘にわれ立ちて長き間を君待ち居たり

美味！ 芳醇！  
 宗正らひた

山崎合名會社  
 電話一〇番

氷屋 サンののれん  
 ◇文字はナフトール・キリブセ  
 二間物各種  
 カーテン 各種  
 ノレン 各種  
 平四丁目  
 スガノヤ提灯店  
 のれん部  
 電九五番

耳鼻咽喉科専門  
 大和田醫院  
 平町 南町 一六〔電話一七〇番〕

種甲認公  
 電動機・變壓器  
 發電機・捲線修理  
 其他各種  
 電氣工事  
 設計請負  
 平研町（電呼二五七番）  
 石田電機工業所  
 石田亮三郎

外科專門  
 花柳病科  
 木村外科醫院  
 電話三〇九番  
 平町六丁目橋際  
 自炊入院の便あり

外科一般 レントゲン科  
 内臓外科  
 北川外科  
 平町新川町（諸橋醫院跡）  
 醫學博士 北川芳夫  
 小林良次  
 電話四六四番

ウワツハツハツハ  
 生の旨さを知らずに  
 ビールを語るなんて？  
 例年の通り生ビール賣出し  
 キリンビール仙臺工場直送  
 ……（毎日午後三時着荷）……  
 洋食ハ  
 平會館

僅かの氷で非常に早くよく冷える  
 (丸ほん冷蔵器)  
 御家庭にも御營業にも最も理想的な冷蔵器……  
 今年には外壁の絶縁装置を特に完全に改良を加へましたのでより一層僅かの氷で非常によく冷える様になりました。部の構造にも一たび改良を加へましたので排水が良くすべて便利になりました爲に貯藏される期間も延長されました。価格は……精選した材料を完備した製法に依る大量生産の爲め良品を廉價に御提供することが出来ます。

株式会社 丸ほん商店  
 營業所 電話三三〇九番  
 平町三丁目一六  
 振替東京二七二四  
 製作所 電話一八二番  
 平町新川町

# お天氣が上り次第

## 本格的な猛暑来る

### 雨模様陰鬱さは未だ続く

#### ▽…水稻には好結果

一時は攝氏三十度を越した暑さが再び逆轉して三、四日薄ら寒いくづついたお天氣續き梅雨季の六月中の異變天候について小名濱測候所でのふ次ぎの如く發表した

温度は半年より高く日照も多く同時にしばしば襲來した雷雨と、下旬における不連続線による降雨のため降水量でも平年より多かつた結果、水稻挿秧期に好結果を與へた模様で、即ち氣温では月平均十九度二(華氏六十六度三)で平年より二度三度高く最高は廿二日の三十一度二(華氏八十八度二)で一度三高く最低は一月の八度二(華氏四十六度四)で二度一低かつた、次に降水量では六月中の

總量百五十五耗六(容量坪當り二石八斗五升餘)で平年より七耗六多く降水日数は十六日で平年並み、最大降水量は廿八日の二十六耗二であつた

尙今二日の豫報は東寄りの風、雨でこの陰鬱な天氣はなほ續く模様だが上ればトタンに焼けつくやうな本格的な猛暑が來ると云ふ

# 赤井嶽も

## 平市の一部

### 赤井村の意嚮

#### 大体異議なし

##### 合併計畫の前途に光明

平町の市制執行に就いて合併可能の意嚮を示しつつある赤井村との間に交渉を進める爲め昨日酒井助役その他委員が同村役場に猪狩村長を訪れ種々折衝した結果村當局は大體賛意を表し

本二日急遽村會を招集して合併に依る負擔割當條件等に就いて審議し具體案を平町に齎らすことになつたが大體合併區域は南赤井の一帶で人口約二千六百あり此の合併が纏れば赤井驛も加はるから平市は二つの驛を持つ事となり靈山阿伽井嶽も平市の名所に繰り込まれる

# 水試場長

## 新任決定

小名濱水産試験場長は前任中山琢三氏が熊本縣に轉任後欠員中であつたが今回静岡岡縣試験場技師五十嵐昭氏が任命された、新場長は愛

# 海區一帶に

## 雪洞を灯して

### 夜の四倉海岸を飾る

四倉海水浴場組合は海水浴の季節を前に浴客誘致に就いて協議の結果、海岸に各種運動具を設備する外實探しや仕掛花火等を催すこと

なり費用の一部を一般から寄附募集するが一方同町青年團も浴場から築港一帯と賣店附近に二百餘の雪洞を點する等余町を擧げて浴

# 米價下廻る

## 東京相場の反影

### 昨日執行の農倉共販

#### 花祭り

##### 第二校に

既報平農倉倉庫は昨日八百二十八俵の飯米共同販賣を行つたが最高建値一俵十二圓七十六錢、最低十二圓五十五錢で東京市況の値下りから前回に比し最高で二十五錢の値下りを示した

警中學力考查 警中の一學期學力考查は既報の如く今日から全學年一齋に開始された

昨日執行の農倉共販 平第二校は来る七日例年通り「花まつり」を催す事になり目下準備を進めてゐるが當日は兒童達の可憐な演技があると

# 鮎解禁第一日は

## 甚だ不漁で

### 天狗連が失望

#### 降雨の爲各河川濁る

##### 客歡迎に努力すると

他縣より一月半後れた昨日の郡下鮎解禁第一日は最近の降雨續きで各河川共濁水になつたため天狗連が期待した程の漁もなく殊に郡下の大公望が目をつけた鮎川は増水四尺の濁流の爲め手がつけられぬ有様、四時川は東京方面から七八十人押し寄せたがこれ又ものにならず近年にない不漁で勢ひ込んで來た天狗連を悲感させた

# ガソリンの運轉競技

## 平機關庫の二運轉手表彰

既報平機關庫は去月二十日から二日間第一回のガソリンカー運轉競技會を行ひ水戸運輸事務所渡邊技手が審査した結果燃料衝動その他

各方面共申分ない成績を擧げたので運轉に従事した松本政義、田島久の兩氏は來る六日水戸運輸中澤所長より賞状を授與される

# 代表選手推載式

## 必勝を期する警女競技部

縣下大會に備へ目下猛練習を行つてゐる警女は今日午後一時から同校講堂で出場選手の推載式を行つたが選手は目下の處陸上競技一八、庭球二〇、籠球一五、排球二二、計七十五名で今後一週間最後の練習を行つた上正選手を決定する方針である

# 炭礦公休

## 七月中決定

常磐三大炭礦七月中の公休日は磐炭、入山が五、二十九、二十六の日曜、古河は四、五、十二、十八、十九、廿六、卅日の七日間と決定した

# 父兄懇話

## けふ第一核で

平第一校の父兄懇話會は既報の如く今日午前八時から開き實地授業參觀の後篠山校長から兒童の感化及び子供の躰方に關する講話あり終つて各クラス毎に懇話會を催し正午閉會したが校長の講話要点は左の如く出席者六百餘名あり頗る盛會であつた

- 一、子供を尊敬せよ
- 二、親になりすぎな
- 三、子供の獨りを犯すな
- 四、子供の味方となれ
- 五、子供の美点の愛者たれ
- 六、子供の罪惡の探偵者たるな

# 教員卓球大會

郡下教員の卓球大會は来る十二日平第一校講堂で體育協會石城支部主催の下に開かれる

# 暗夜の線路上に

## 轉落負傷す

### 青沼町長の奇禍

#### 直ちに市原醫院に入院

青沼町長は昨日午後十時廿三分平驛着下り急行列車で東京からの歸途に着き平驛に停車を待つて降車の際折柄の

降雨を避ける爲め羽織つたレノコートが裾が足にからみ着き突然轉倒した

線路上に轉がり落ちたが機關車の直後に増結されて居た一輛目の前衛列車であつた爲めホームの外れで電燈の光も届かぬ暗

い場所の事として何人も氣付かず漸く大聲に人を呼び程經て救出されたが頭部に裂傷を負つた外ズボンに裂けて腰部にも重傷し出血甚だしく直ちに市原醫院に入院頭部三針の縫合手術を受けた外應急

手当が効を奏し急を聞いて駆け付けた勢伊子夫人、子息淡夫醫學士夫妻、其他の手篤い看護を受け元氣を回復し同夜は疲勞も手傳つて安眠が結ばれた

# 危い處で

## 轢死を免る

### 不眠不休の慌しさ

青沼町長は昨日安藤子爵家の葬儀(長子逝去)に參列の爲め福島から歸る早々一番の上り列車で上京し本日の産業組合役員會、平町戸數割審議委員會を控え且つ明日の郡下町村長會準備等がある爲め日歸りの慌しさにて急いで歸郷の途に着いたの

であつて身體は極度に疲勞し切つて居たものゝ如く車中에서도開いた新聞紙から眼を外して假睡に落ちつゝ平驛に着いた結果幾分足許も亂れ夫れにレノコートが裾がからみついたので一たまりもなく轉んでアツと思ふ間に車側からレールの

上に落ちたらしく若し此際人事不省に陥つし身動きの自由を失へば氣付かず發車する車輛の爲めに身體は無残に轢断されたであらうと

# 神の救ひ!

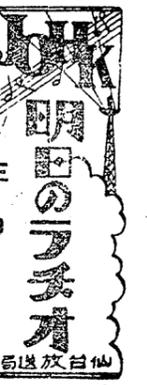
## 死線を突破と

### 青沼町長語る

けふ青沼町長は市原醫院の病室に横り蒼白の頬に幾分やつれを見せながらも常と變らぬシツカリした語調で語る

轉げ落ちて氣付いた時は列車の車輪の傍らであつたから一時は自分ながら命は無

いものと觀念した、其處で最初體をビタリと車側にくつつけて見たが未だ發車しないのを幸ひに、大聲で人を呼んだのだ、而し急行列車で降車する人も殆んどない有様、殊に機關車の直ぐ次ぎの列車だけに驛員等も氣付かぬ模様で、暫らく呼び通して居た處、直ぐ體の上の列車に乗つて居た人達が開き付けたりしくドカ



明日のラジオ

今夜は南の風曇り明日は北東の風曇り後雨

### 今晚の部

- 後六、〇〇 バイブハーモニカ獨奏綿貫譽
- 後六、二五 農家の時間「農村の動力使用に就いて」關口八重吉
- 後七、二〇 講演「ソ聯邦の車備に就いて」秦新聞班長
- 後八、〇〇 ハモンドオルガン獨奏K.E.パーカー一神戸女學院中繼

### 明日の部

- 後八、二〇 琵琶合奏「花の夢」田中旭嶺他
- 後八、四五 小唄春日とよ菱他
- 後九、〇五 漫談風景僕はオリムピック選手エンタツ、エノスケ
- 後九、三〇 時報 ニューズ 明日の話題氣象通報番組豫告

# 少年團健兒

## 社頭の全癒祈願

青沼町長奇禍の聲に驚いた人々は早速市原醫院に駆けつけ早朝から見舞客が絶えぬので市原醫師の注意に依り立先「面會謝絶」の紙が貼り出され役場吏員が名刺を受け付けて居る、老齡壯者を凌ぐ元氣で市制實現を控えた繁盛な公務に没頭間断なく健闘しつゝ、町民の輿望を擔つて居る丈に速やかな全癒を祈るや切なるものがあつたが殊に平少年團の健兒達は「われ等の總理」

# 空巢覗ひ

## 少女捕る

平町紺屋町川島トメ(二)假名は性來の盜癖から今春以來一丁目岡田弘成氏方外數軒で二十餘回空巢覗ひを働きた昨日夜半署に捕はれた

# 思ひつめて

## 旅費も持たずに

### 娘が家出

昨日晝頃四倉驛待合室で熟睡して居る年若い女を四倉署員が怪んで事情を調べた處向人は相馬郡八幡村農天野豐藏三女トキ(三)で二十九日夜家人に叱られたのを苦にして上京せんと家出したが旅費不足から四倉驛に降された事が判り親元へ送り返された

### 平職業紹介所報告

- 回 人を求める方
  - △外交販賣員 廿五才位 給料歩合 尋卒
  - △女中 廿五才迄 月給五圓位外仕着 尋卒
  - △座敷女中 卅五才迄 月給五圓外外チップ
  - △女中 四十才迄 月給四圓
- 回 職を求める方
  - △精米夫 二十四才 尋卒
  - △コック 廿九才 尋卒
  - △料理人 廿五才 高一修
  - △荷上人夫 卅二才尋四修

### 裁判一束

△野報去る三十日平支部で中島裁判長から懲役二年を言渡された誘拐魔崎玉縣兒玉郡貸美村生れ當時住所不定無職前科三犯清水五郎(三)は今日上訴權を棄てし服罪したので直ちに宮城

# 繞る瓦解の謎

(續上巻) 悟道軒圓玉(作) 丸尾至陽(書)



## 一六二 大村の策戦

官軍の參謀大村益次郎君は白晝上野に兵をむけて討伐しろといつた、すると夜襲説を主張した者が

○「今も申す通り敵は三千我軍は五千、兵數わづかに二千の相違それで堂々と押しよせて勝利を得ることが出来るかの」

益「イヤ拙者が奇策を以て半日のうちに攻めおとして見せる」

と言ひましたが、これを聞いた他の參謀は上野に居る敵は勝敗を眼中におかず一人でも多く敵を切つて死なうといふものばかり、さういふおそろしい者のあつまつてゐるところへ兵を向けて半日で攻めおとすことはなるまいと思つた、その時に西郷先生が

西「これは大村どんにまかせておくがよからう、戦にかけては大村どんは神様だそれを人間が兎や角いふことはない」  
とかういつてカラ／＼と笑つた、さすがに西郷先生のことゝて人を見る目も優れて居る、そこでこの戦ひは大村君に一任することゝした、これから官軍は五月

九日より兵を要所々々に配り今にも上野へ押しよせるやうに見せる、彰義隊は官軍の行動を見てさうは押しよせるな、来たならば徳川武士の意氣地をしめし目に



しばらくすると戻つて来て○「大分兵は動揺いたして居ります、聞くところによると今日押しよせるのとこのとですか」

○「それは有難い、久々で刀に血をぬること出来る、さア押しよせて參れ」

と刀の柄を叩き槍をしごき鐵砲に玉をこめて今夜は来るだらうと待つてゐたが何の沙汰もない、その内に夏の夜の明けやすく東が白み森をはなれた鳥は彰義隊の屯所を見おろして阿呆々々となつてゐる、彰義隊も

ものみせてくれやうと、上野山内へ兵を配置してさア来いと待ちうけた、ところが官軍からは攻めよせぬ○「何うしたんだ、まだ兵が出ぬではないか、昨夜は押しよせると思つてまつて居つたが一兵も見えぬやうだ、敵の行動をさぐつて見ろ」

とこゝで斥候を出した、失望して張つめた勇氣もくぢける、そこでまた斥候を出すと官軍はしきりに兵を出してゐる、今にも上野に押しよせるやうに見える、これは大村君の策戦です、東においた兵を西にまはし西を東、南を北、毎日兵を入れかへる、かうすると五千の兵も一萬にも見える、また今にも上野へ押し

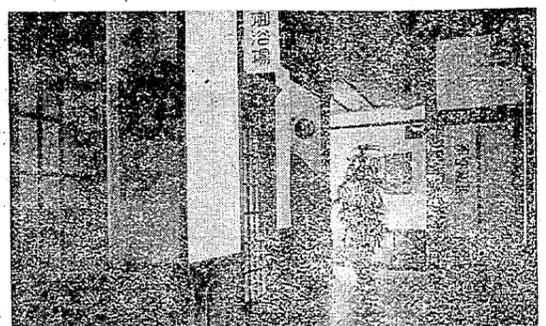
て来るやうに思はれる敵を疲勞させて一舉に攻めおとす策戦、西郷先生も軍事は大村にまかせて置けば大丈夫だといつた程です、彰義隊は防備を嚴重にして官軍が押しよせて来たならば腕前を見せつけてくれやうと待つてゐたがなかく戦にならぬ

○「何うしたんだ、薩州も長州も大村も吾々の意氣におどろいて兵を出さぬものであらう」

と笑つてゐる、頭取天野八郎は馬に乗つて江戸市は勿論外まで巡視した、戦ひをするならば江戸の出口々々も取切らねばならぬ、ところが官軍の兵はまことにすくない、これは不思議だ、この事について考へたが、やがて上野にもどつて来て重立らしものをあつめてこの事を告げると

○「それでは兵は出さまい官軍がしきりに兵をうごかすは吾々を威すためであらう、かうすればそれにおどろいて山を下る者もありましたこの隊がくずれすることもあらうかとそれらを考へて兵をうごかすことゝ思ふ、さて、柔弱な奴だ」

とかういつたが天野八郎はしきりに考へてゐる八「イヤ必ず官軍はこれへ兵をむける、それは近きうちであらう、また彼等が兵を動かすについてはそれには理由がある、油断はならぬぞ」といひました。



木村外科醫院  
平町六丁目橋際  
電話三〇九番

店主が店員
を連れて行く
か
正シイ食堂
正シイ喫茶
正シイ酒場

平・田町  
レストサロン  
電三五二番

安齊外科醫院  
平町・田町  
電話四七五番



小瀧へ!!

宿泊料	1.50	2.00	2.50
-----	------	------	------

(御滞在は左記料金にて中食料をふくませます)

日歸浴席料	.20
自炊料	.50-.80
料理一定食	.80 1.00 1.50

入場料・室料  
夜具料一切

湯 効 神経痛、リウマチス、胃腸病、痔疾、婦人病、逆上、中風、肥胖病 (内務省東京衛生試験所検定済)

備 撞球臺、高級ラヂオ、大廣間、讀書室、近代式浴場と洗面所、水洗式便所、小動物園、タクシー、御子様運動器具

名物 川魚料理(うなぎ、鯉)蜂蜜羊かん

●女中數名入用●

常磐線湯本驛 小瀧鑛泉  
御旅館 瀧の湯  
御自炊  
電話 (小名濱) 103番

時代の要求皆様の足!!

ニ子タクシーへも

豆タクが入りました

御立廻から立廻へ...迅速簡便

是非御利用を

市内...三〇錢 市外...四割引

流線型セダン 大型貨切バス

宮行 直通は二丁目ニ子自動車部より發車いたします

平町二丁目  
電話六四〇番

尼子自動車商會

橋本屋造花店

神佛具

—速迅價廉—

平町新町川  
電話六三番